

海外工事

わが国の海外における建設産業の活動は年々着実に発展の基盤を拡大しており、昭和46年の海外建設市場での受注実績は、コンサルティング部門では、契約件数117件・受注額93億9000万円、工事請負は、契約件数112件・受注額464億5000万円となっている。これを前年に比べると、コンサルティングは、件数において1.40倍、受注額で1.22倍であり、工事請負は、件数で1.19倍、受注額では1.10倍となっている。受注額についてみれば、昭和46年は円の大幅切上げを含む国際的な通貨調整措置など、一連の通貨変動に伴う国際競争力の低下などの影響を大きく受けた年であったが、それにもかかわらず、全般的に着実な活動実績を示している。

名 称	デ	一	タ																																					
ドマイ オイル リファイナーリー プロジェクト ① プトリトジュウプラント・7人炬プラント、② インドネシア国、③ 85% 完成 (昭和48年1月1日現在)	事業実施箇所：インドネシア国スマトラ島ドマイ町 工事期間：昭和44年3月1日～48年6月30日 ① プトリトジュウプラント・7人炬プラント、② インドネシア国、③ 85% 完成 (昭和48年1月1日現在)	事業主体：インドネシアペルタミナ(国営石油会社) 工事期間：昭和44年3月1日～48年6月30日 事業予算：52億5000万円(土建工事) 機器基礎：装置基礎・ニューティリティ・フレアースタック等 タンク基礎：4万k ² ×4基・2万k ² ×3・7000k ² ×4 その他・3万k ² ×1・1万k ² ×17・計56万k ² 建屋および基礎：延面積6500m ² 道路配線配管工：配線/配管工一式・場内道路9km・場外道路14km 棧橋工：10万～1万D.W.T(タンカー用棧橋) 場内排水工：オイルセパレーター 55×40×1.35×16m×1・排水工延長6000m 施工業者名：大成海外建設(株)																																						
ベラワン 海底管布設工事 ② インドネシア、③ 100% 完成 (昭和48年1月31日現在)	事業実施箇所：インドネシア国スマトラベラワン地区 工事期間：昭和46年9月1日～47年12月31日 事業予算：11億3000万円 海底管：φ20"・延長12.6km 陸上管：φ20"・延長2.5km 繫留ブイ：1万3000～2万D.W.T用・4点繫留方式 DEPOT：400k ² SLOP TANK 2基・OIL SEPARATOR 1基・既設TANK 群へ1接続配管 施工業者名：大成海外建設	事業主体：インドネシア石油公社(PERTAMINA)・トーマン・日商岩井 工事期間：昭和46年9月1日～47年12月31日 事業予算：11億3000万円 海底管：φ20"・延長12.6km 陸上管：φ20"・延長2.5km 繫留ブイ：1万3000～2万D.W.T用・4点繫留方式 DEPOT：400k ² SLOP TANK 2基・OIL SEPARATOR 1基・既設TANK 群へ1接続配管 施工業者名：大成海外建設																																						
ドマイ 精油所リフォーマー工事 ② インドネシア、③ 85% 完成 (昭和48年1月31日現在)	事業実施箇所：インドネシア国ドマイ 工事期間：昭和46年3月31日～48年6月30日 事業予算：12億3000万円 施工業者名：大成海外建設(元請・住友商事)	事業主体：インドネシア石油公社(PERTAMINA)・住友商事 工事期間：昭和46年3月31日～48年6月30日 事業予算：12億3000万円 施工業者名：大成海外建設(元請・住友商事)																																						
ジャチバラ 原油基地工事 ① ジャチバラ工事、② インドネシア、③ 85% 完成 (昭和48年2月1日現在)	事業実施箇所：インドネシア国西部ジャチ 工事期間：昭和46年10月1日～48年3月末日 事業予算：21億円(土建工事) 盛土：14万5000m ³ アスファルト舗装：2万5468m ² コンクリート：8300m ³ 掘削：9万7000m ³ コンクリート管：φ450mm・1510m U字溝：3304m 外棚：4328m 施工業者名：鹿島/大成JV(50/50)	事業主体：インドネシア石油公社(PERTAMINA)・(三井/丸紅-新潟鉄工) 工事期間：昭和46年10月1日～48年3月末日 事業予算：21億円(土建工事) 盛土：14万5000m ³ アスファルト舗装：2万5468m ² コンクリート：8300m ³ 掘削：9万7000m ³ コンクリート管：φ450mm・1510m U字溝：3304m 外棚：4328m 施工業者名：鹿島/大成JV(50/50)																																						
ウイズマ スクランラ会館工事 ② インドネシア)	事業実施箇所：D.J.L. M.H. Thamrin 65, Djakarta, Indonesia. 工事期間：昭和45年5月1日～47年10月31日 事業予算：63億円 工事概要：	事業主体：三井物産(株) 工事期間：昭和45年5月1日～47年10月31日 事業予算：63億円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>(A) 事 務 棟 部</th> <th>(B) ホ テ ル 部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>S造, 30階建, 地下1階(機械室)</td> <td>RC造, 11階建, PH 2階</td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>1126m²</td> <td>4997m²</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>3万3014m²</td> <td>1万9629m²</td> </tr> <tr> <td>客 室 数</td> <td>—</td> <td>354室</td> </tr> <tr> <td>基 礎</td> <td>—</td> <td>RC抗 l=10m 685本</td> </tr> <tr> <td>屋 根</td> <td>アスファルト防水, シンダーコンクリート押え, モルタル仕上</td> <td>アスファルト防水, シンダーコンクリート押え, モルタル仕上</td> </tr> <tr> <td>外 壁</td> <td>アルミカーテンウォール</td> <td>リシン吹付およびタイル貼仕上</td> </tr> <tr> <td>建 具</td> <td>—</td> <td>アルミ建具</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内部仕上</td> <td>床</td> <td>ビニールタイルおよびモルタル仕上</td> <td>セラタイルおよびカーペット</td> </tr> <tr> <td>壁・天井</td> <td>岩綿吸音板, 一部アスベストボード</td> <td>ラフゴート仕上・一部石および布張り</td> </tr> <tr> <td>その他諸設備</td> <td>エレベーター 6 地下機械室, 1階銀行, 2～27階貸事務所, 28階スカイレストラン, 29～30階</td> <td>エレベーター 5 給排水工事, 配管工事, 電気設備工事, 放送設備工事, 火災警報設備, 電話工事</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	(A) 事 務 棟 部	(B) ホ テ ル 部		S造, 30階建, 地下1階(機械室)	RC造, 11階建, PH 2階	建築面積	1126m ²	4997m ²	延床面積	3万3014m ²	1万9629m ²	客 室 数	—	354室	基 礎	—	RC抗 l=10m 685本	屋 根	アスファルト防水, シンダーコンクリート押え, モルタル仕上	アスファルト防水, シンダーコンクリート押え, モルタル仕上	外 壁	アルミカーテンウォール	リシン吹付およびタイル貼仕上	建 具	—	アルミ建具	内部仕上	床	ビニールタイルおよびモルタル仕上	セラタイルおよびカーペット	壁・天井	岩綿吸音板, 一部アスベストボード	ラフゴート仕上・一部石および布張り	その他諸設備	エレベーター 6 地下機械室, 1階銀行, 2～27階貸事務所, 28階スカイレストラン, 29～30階	エレベーター 5 給排水工事, 配管工事, 電気設備工事, 放送設備工事, 火災警報設備, 電話工事
区 分	(A) 事 務 棟 部	(B) ホ テ ル 部																																						
	S造, 30階建, 地下1階(機械室)	RC造, 11階建, PH 2階																																						
建築面積	1126m ²	4997m ²																																						
延床面積	3万3014m ²	1万9629m ²																																						
客 室 数	—	354室																																						
基 礎	—	RC抗 l=10m 685本																																						
屋 根	アスファルト防水, シンダーコンクリート押え, モルタル仕上	アスファルト防水, シンダーコンクリート押え, モルタル仕上																																						
外 壁	アルミカーテンウォール	リシン吹付およびタイル貼仕上																																						
建 具	—	アルミ建具																																						
内部仕上	床	ビニールタイルおよびモルタル仕上	セラタイルおよびカーペット																																					
	壁・天井	岩綿吸音板, 一部アスベストボード	ラフゴート仕上・一部石および布張り																																					
その他諸設備	エレベーター 6 地下機械室, 1階銀行, 2～27階貸事務所, 28階スカイレストラン, 29～30階	エレベーター 5 給排水工事, 配管工事, 電気設備工事, 放送設備工事, 火災警報設備, 電話工事																																						
住宅基礎杭打工事 ② シンガポール、③ 40% 完成 (昭和47年12月31日現在)	事業実施箇所：シンガポール国 工事期間：昭和45年1月1日～51年1月14日 事業予算：83億円 施工業者名：五洋建設	事業主体：シンガポール政府住宅発展局 工事期間：昭和45年1月1日～51年1月14日 事業予算：83億円 施工業者名：五洋建設																																						
S.P.C. 棧橋建設工事 ② シンガポール、③ 80% 完成 (昭和47年12月31日現在)	事業実施箇所：シンガポール国 工事期間：昭和46年8月1日～48年6月30日 事業予算：11億円(うち、東亜港湾持分4億4000万円・五洋建設持分6億6000万円) 8万5000D.W.T. 棧橋建設・2バース 2万D.W.T. 棧橋建設・1バース 施工業者名：東亜港湾工業・五洋建設JV	事業主体：シンガポールペトロリウムカンパニー 工事期間：昭和46年8月1日～48年6月30日 事業予算：11億円(うち、東亜港湾持分4億4000万円・五洋建設持分6億6000万円) 8万5000D.W.T. 棧橋建設・2バース 2万D.W.T. 棧橋建設・1バース 施工業者名：東亜港湾工業・五洋建設JV																																						

建設産業の海外活動は相手国の開発計画への推進に寄与するとともに、現地業者の施工能力および施工技術等の向上に資するもので、国際協力の推進のうえからも大きな意義を有するものである。また、海外市場を確保することは建設産業の安定と発展をもたらすものであることはいままでもない。わが国の建設産業が欧米先進諸国に対する立ち遅れを克服して国際競争に伍していくためには、業界自体の海外事業推進体制の充実と海外市場獲得の努力が必要であると同時に、政府ベースでの海外活動環境整備の推進が望まれるところであり、さらに、開発途上国の経済開発の進展や国際競争の激化にかんがみ、多方面にわたる海外事業促進対策を講じていく必要がある。

なお、昭和 47 年 11 月からは海外工事請負に係る外国為替管理上の制限が緩和されたため、建設業の海外活動はいっそう活発になるものと思われる。

概 要 ・ 特 色	
<p>本プラントの建設に際しては、日本グループによるフルターンキーベースで成約されたものである。本プラントは中部スマトラの産油地帯を控え、100 万 m³ の敷地内に原油処理能力 10 万 B/D の常圧蒸留装置と一連の精製設備を有する東南アジア随一の規模を誇る製油所である。ここで精製された低硫黄重油の大部分は日本に輸出される。日本グループとして、住友商事・ファーイートオイルトレーディング・石川島播磨重工業・大成海外建設がたずさわった。</p>	
<p>ドマイ精油所内にハイオクタン製造装置および貯蔵タンクを新設する工事である。naphtha rerun unit, catalytic reforming unit, blender の装置を支える基礎および建家タンク基礎。1 万 kl および 7 000 各 3 基。</p>	
<p>ブルタミナの西部ジャワで開発された油田の原油集積・輸送基地工事のうち土建工事。 ① ローディングターミナル：敷地造成・排水タンク基礎・ポンプ基礎・防油堤、② ブロックステーション (A および B)、③ トランクライン、 ④ 鉄骨造建家一式。</p>	
<p>この工事は 1965 年 9 月 30 日の政変で 30 階建の鉄骨建方直後、中断したまま放置されたのを引継いで再開された工事である。</p>	
<p>高層住宅建設のための基礎工事であるが、土質または地域により工法は次表のごとく異なる。</p>	
工 事 内 訳	契 約 金 額
アースドリル杭	33 億 8 000 万円
H 型 鋼 杭	31 億 9 000 万円
鉄筋コンクリート杭	17 億 3 000 万円

名 称	デ ー タ
H.R.D. ドック工事 (Hitachi Robin Development) 〔② シンガポール, ③ 35% 完成 (昭和 48 年 1 月 24 日現在)〕	事業実施箇所: シンガポール国 ジュロン市 事業主体: 日立ロビン デイベロプメント会社 工事期間: 昭和 47 年 8 月末日~49 年 3 月末日 事業予算: 19 億 1000 万円 ドック本体: 長さ 350×幅 60 (W)×深さ 12m・掘削土量 34 万 1700 m ³ ・ポンプ室, 注水室を含む クレーン基礎: 50t LLC 392.5 m・10t LLC 620.0 m・地下変電室 4 箇所 岸壁: 延長計 727 m 施工業者名: 鹿島建設
ガテックスターミナル建設工事 〔② シンガポール〕	事業実施箇所: シンガポール国 ジュロン地区 事業主体: ガテックスターミナル 工事期間: 昭和 47 年 11 月~48 年 12 月(予定) 事業予算: 15 億 1000 万円 栈橋工事: 8 万 5000, 5000 D.W.T. タンカー-接岸バース各一式・427 m 配管栈橋一式 整地および建屋: 整地面積 7 万 6000 m ² および事務所, 倉庫, 実験室一式・AS 舗装 2 万 6171 m ² ・その他給排水施設 タンクおよび配管: 500 kI タンク 16 基・1000 kI タンク 6 基・配管一式 施工業者名: 東洋建設・不二管鉄工業
シンガポール西海岸埋立工事 〔② シンガポール, ③ 51% 完成 (昭和 46 年 12 月 20 日現在)〕	事業実施箇所: シンガポール共和国バスマンジャン火力発電所とボンナビスタ道路との間の海上 事業主体: シンガポール政府 工事期間: 昭和 46 年 12 月~49 年 2 月 事業予算: 23 億 3000 万円 埋立面積: 36 万 5000 m ² 浚渫土量: 床埋 80 万 m ³ ・採砂 (海砂) 122 万 m ³ 鋼矢板岸壁: 1600 m 捨石護岸: 180 m 山土: 250 万 m ³ 施工業者名: 東亜港湾工業
シンガポール石油栈橋建設工事 〔② シンガポール, ③ 84% 完成 (昭和 46 年 12 月 20 日現在)〕	事業実施箇所: シンガポール国 Pulau Merimau 事業主体: Spore Petroleum Co. 工事期間: 昭和 46 年 12 月~48 年 3 月 事業予算: 6 億 9000 万円 Dredging: 20 万 cy Dry Cargo Dock: D/W 1 万 8000 Oil Handling Dock: D/W 8 万 5000 施工業者名: 東亜港湾工業
(株) シンガポール 開発銀行 (DBS) ビル新築工事 〔② シンガポール, ③ 35% 完成〕	事業実施箇所: シンガポール国 シェントン通り 事業主体: (株) シンガポール 開発銀行 工事期間: 昭和 46 年 5 月 1 日~49 年 11 月 30 日 事業予算: 43 億円 階数: 地上 50 階・地下 2 階 高さ: 約地上 186 m 敷地面積: 8160 m ² 建築面積: 7708 m ² 延面積: 7 万 9529 m ² 外装: モザイクタイル張り・主体/仕上/設備工事共 施工業者名: 大林組
シンガポール東部海岸埋立工事第三期工事(タンジョンルー-シンガポール) 〔② シンガポール, ③ 44% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: シンガポール国 タンジョンルー 事業主体: シンガポール政府 工事期間: 昭和 46 年 3 月 20 日~49 年 3 月 19 日 請負金額: 25 億 2000 万円 埋立面積: 66 万 cy 埋立土量: 550 万 cy 浚渫工: 66 万 cy 施工業者名: 大林組
化学薬品貯蔵タンクヤード建設工事 〔② タイ, ③ 85% 完成 (昭和 47 年 12 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: タイ国バンコック市郊外 事業主体: 三菱商事 (株) 工事期間: 昭和 46 年 5 月~48 年 5 月 事業予算: 約 10 億円 接岸栈橋: 5000 D.W.T. タンカー用 貯蔵タンク: 500 kI 9 基・1000 kI 2 基・1500 kI 1 基・2000 kI 1 基 配管その他: 設備一式 施工業者名: 西松建設
スリ・サチャナラトーデンチャイ No. 2 道路新設工事 〔① デンチャイ道路工事, ② タイ, ③ 40% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: タイ国ウタラジット付近 事業主体: タイ国開発省道路局 工事期間: 昭和 46 年 9 月~48 年 12 月 31 日 事業予算: 11 億 6000 万円 工事規模: 延長 38 km・幅員 車道 6 m/路肩 4 m・舗装 5 cm アスファルトコンクリート 23 万 2000 m ² ・掘削 98 万 m ³ ・盛土 65 万 m ³ ・RC 橋梁延 220 m 施工業者名: 間組
ナムプロム水力発電所建設工事 〔② タイ, ③ 100% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: タイ国コンケン市西方 130 km 地点 事業主体: タイ国電力庁 工事期間: 昭和 45 年 2 月 1 日~47 年 10 月 26 日 請負金額: 29 億 7000 万円 ロックフィルダム: 堤高 73 m・堤長 740 m・体積 166 万 m ³ 吐水路: ゲート 6.3×12 m・幅 26~24 m・コンクリート巻き 圧力トンネル: 長さ 3055 m・径 3.0~2.6 m 施工業者名: 大林組
バンコック・ターチャン橋およびバンコック・ノイ橋建設工事 〔② タイ, ③ 77% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: タイ国バンコック市内 事業主体: タイ国内務省 工事期間: 昭和 46 年 5 月 13 日~48 年 7 月 31 日 請負金額: 27 億 4000 万円 (ターチャン橋) 長さ: 280 m・幅員: 26.8 m・アプローチ道路: 長さ 446 m・幅員 22.7 m・下部 PC 杭: 長さ 20.6 m・幅 22.7 m (ノイ橋) 長さ: 480 m・幅員: 19.8 m・アプローチ道路: PC 杭使用・長さ 15 m・幅員 13.1 m 施工業者名: 大林組/住友建設 JV (大林組出資 60%/住友建設出資 40%)
クチン港拡充工事 〔② マレーシア〕	事業実施箇所: マレーシア国サラワク州クチン市郊外 事業主体: マレーシア国サラワク州クチン港務局 工事期間: 昭和 46 年 9 月 7 日より 750 日間 事業予算: 19 億 2000 万円 盛土追加工事: サンドマット, サンドドレーン 岸壁工事: ボックスパイル (L=60 ft) 等・使用延長 800 ft 護岸工事: ボックスパイルのほか PC ブロック等 その他: 保税倉庫等 (2250 坪) 施工業者名: 三井建設/三井物産/三井港湾 JV
コタキナバル港・ナンダカン港拡張工事 〔② マレーシア, ③ 15% 完成 (昭和 47 年 12 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: マレーシア連邦サバ州コタキナバル港およびナンダカン港 事業主体: マレーシア連邦サバ州港務局 工事期間: 昭和 47 年 6 月 24 日~49 年 12 月 24 日 事業予算: 54 億 9000 万円 栈橋: 4 バースならびに湾橋の築造工事 上屋: 4 棟の建築工事 その他: 付帯工事一式 施工業者名: 五洋建設
香港啓徳空港滑走路延長工事 〔② 香港〕	事業実施箇所: 香港九龍地区 事業主体: 香港政府公共事業省 工事期間: 昭和 45 年 10 月 21 日~48 年 4 月 請負金額: HK \$ 1 億 237 万 9356 (拡張工事) 浚渫土量: 164 万 4000 m ³ 掘削・埋立: 585 万 6000 m ³ (付帯工事) 滑走路岬突端を結ぶ海上運搬橋を含むアクセス道路 総延長: 1430 m (海上運搬橋 200 m) 施工業者名: 熊谷組
クワイチュンコンテナターミナル施設建設工事第二期工事 〔② 香港, ③ 54% 完成 (昭和 47 年 12 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: 香港青衣島東方クワイチュン地区 事業主体: 九龍コンテナウエアハウス会社・シーランドオリエン会社 工事期間: 昭和 47 年 1 月 31 日~48 年 8 月 31 日 事業予算: 37 億 4000 万円 設備工事: 受電設備・建物内外の電気給排水衛生空調設備等 土工工事: 構内舗装 18 万 6000 m ² ・排水工事施工業者名: 西松建設

概 要 ・ 特 色

日立造船が現地 Robin & Co. と合弁設立の H.R.D. 造船所の No. 1 修理ドックならびに付帯土木工事である。

本プロジェクトはシンガポールがテックス社の発注になる石油貯蔵基地建設工事である。

本工事はシンガポール西海岸の埋立工事で、その内容は浚渫、鋼矢板岸壁、捨石護岸および埋立工事などである。

本工事は Spore Pulau Merimou において建設される Spore Petroleum Co. の 7 万 B/ 石油精製工場施設のうち、Marine Facility を施工するものである。

このビルはシンガポールで一番高い地点であるブキテマの丘 (約 177 m) より約 10 m 高い軒高 186 m となり、現地でひときわ異彩を放つビルとなる。また、この超高層ビルの建設がわが国の建設技術の進歩を海外に示す良い機会であり、日・シ親善に寄与するところ大なるものがある。

シンガポール政府の自己資金に基づいて国際入札に付された工事であり、内容はシンガポールにおける住宅政策の一つとして、まず海岸埋立を行ない、住宅地の造成を行なうものである。現在のところ、第一期から第四期まで発注され、大林組は一期～三期工事を請負い、一期～二期は一昨年完成した。

近く第五期工事も発注される予定。

本工事は、従来缶入等で輸送販売されていた諸化学薬品 (液体) のコスト低減をはかるためタンカーによる BULK 輸送に切替え、その受入貯蔵設備を施主の要望によりタイ国バンコック市郊外メナム河畔に建設したものである。

タイ国家予算工事のため外貨分契約はない。

本プロジェクトにはわが国の経済協力 (円借款) が供与され、メコン川周辺の経済発展に寄与するものである。

本プロジェクトには、わが国の経済協力 (円借款) が供与されて、拡大するバンコック首都圏の交通対策に大きな効果をもたらすものである。

本工事の特色は、資金源をアジア開発銀行および自己資金によったことである。

コタキナバル港、サンダカン港とも同規模の港湾である。本プロジェクトには世銀借款が供与されている。受領通貨は日本円・米ドル・マレードルである。

既存滑走路末端より海に向け約 830 m ・幅 387 m の拡張工事および付帯工事である。入札期日は昭和 45 年 6 月 12 日、保証期間は 12 か月、履行保証 HK \$ 70 万 で、保留金は HK \$ 70 万 (MAX.) である。

建築工事としては、コンテナフレートステーション (鉄骨造り) 3 万 1 588 m²、メンテナンスショップ、事務所などである。

名 称	デ ー タ
ブッシャー港浚渫工事ならびに灯浮標設置工事 〔② イラン, ③ 60% 完成 (昭和 47 年 12 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: イラン帝国ブッシャー港 事業主体: イラン帝国政府大蔵省港湾運輸局 工事期間: 昭和 47 年 4 月 1 日~48 年 11 月 30 日 事業予算: 21 億 8000 万円 浚渫工事: 約 750 万 m ³ 埋立工事: 900 万 m ³ 護岸工事: 900 m 灯浮標等の設置工事: 37 基 施工業者名: 五洋建設
タッカーテックコン間道路建設第 5 工区 (シクラキヤ橋) 工事 〔④ バングラディッシュ, ③ 30% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: バングラディッシュ国ダッカ市 事業主体: バングラディッシュ政府道路局 工事期間: 昭和 45 年 7 月 1 日~49 年 3 月 31 日 請負金額: 16 億 9000 万円 (昭和 47 年 1 月現在) 橋長: 390 m 幅員: 14.4 m 取付道路盛土: 40 万 8000 cy 基礎 RC小判形: 13.3×4.75 m ケーソン: 5 基 基礎: RC小判形 (15.0m×6.25 m)・ケーソン 2 基 橋脚: RC内型 ラーメン (上部・ポストテンションPC桁) 施工業者名: 大林組
台湾南北高速道路建設工事第五工区 〔① 台湾工事第五工区, ② 台湾, ③ 61.8% 完成 (昭和 47 年 12 月 31 日現在・社内出来高)〕	事業実施箇所: 台湾省桃園県 事業主体: 中華民國交通部台湾区高速公路工程局 工事期間: 昭和 46 年 7 月 29 日~48 年 12 月 14 日 事業予算: 18 億 2000 万円 (NT 2 億 3700 百万×7.7) 道路: 延長 9000 m インターチェンジ: 2 か所 橋梁: 7 か所 ボックスカルパート: 27 か所 築堤および客土: 323 万 m ³ 舗装: 36 万 m ³ 施工業者名: 青木建設
チョーライ病院新築工事 〔② ベトナム共和国, ③ 40% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: ベトナム共和国サイゴン市 事業主体: 日本国外務省 工事期間: 昭和 46 年 8 月~49 年 3 月 25 日 事業予算: 41 億 3000 万円 工事規模: 建物 (鉄筋, 鉄骨コンクリート造り・地上 11 階建・延面積 3 万 9620 m ²) 設備工事内訳: 電灯/動力/電話/火災報知設備・受変電/自家発電設備・空調/ボイラー/給湯/ガス設備・エレベーター設備等 施工業者名: 間組/チョーライ病院設備工事 JV
インドネシア・スンボールダムおよび灌漑計画 〔② インドネシア〕	事業実施箇所: インドネシア国中部ジャワ 事業主体: インドネシア政府 工事期間: 昭和 47 年 7 月から向う 5 年間 事業予算: 4 億 6000 万円 コンサルタント名: 日本工営
インドネシア・ソロ河流域地下水開発計画 〔② インドネシア〕	事業実施箇所: インドネシア国ジャワ島 事業主体: インドネシア政府 工事期間: 昭和 47 年 7 月から向う 4 年間 事業予算: 約 2 億 4000 万円 コンサルタント名: 日本工営
バンコック環状道路計画 〔③ タイ〕	事業実施箇所: タイ国バンコック・トンブリ地区 事業主体: タイ国政府 工事期間: 昭和 47 年 3 月から向う 4 年半 事業予算: 3 億 6000 万円 コンサルタント名: パシフィック・コンサルタンツインターナショナル
安東多目的ダムプロジェクト 〔② 韓国〕	事業実施箇所: 韓国 事業主体: 韓国水資源開発公社 工事期間: 昭和 47 年 6 月~51 年 10 月末日 事業予算: 4 億 8000 万円 コンサルタント名: 日本工営
韓国・崇山江流域総合開発計画 〔② 韓国〕	事業実施箇所: 韓国 事業主体: 韓国農業振興公社 (ADC) 工事期間: 昭和 47 年 2 月から向う 4 年間 事業予算: 5 億円 コンサルタント名: 三祐コンサルタンツ

市街地土木工事の仮設と安全対策

● B 5 判 232 ページ・上クローズ装 定価 2200 円 会員特価 2000 円 (〒170 円) ●

●市街地土木工事公衆災害対策要綱の改正について / 建設省・鈴木恒夫 ●市街地における大規模掘削工事の安全対策 / 交通営団・蛭川達郎 ●作業場付近の交通対策 / 警視庁・若林徹雄 ●営業線近接工事の安全対策 / 国鉄・田中和夫 ●埋設物の保安処理 / 東京ガス・山口靖之 ●酸素欠乏症 / 労働省・中西吉造 ●土留工 / 鹿島建設・堀井陽三 ●路面覆工 / 都交通局・吉田収一 ●重量物の運搬と架設 / 東京鉄骨橋梁・松岡亮一 ●市街地における杭打ち作業 / 前田建設・中野衛 ●コンクリート地下連続壁の施工 / 大林組・東浦信光 ●足場と支保工 / 大成建設・黒沢透 ●

土木工事の積算

B 5・222 定 価 1800 円
上 製 本 会 員 特 価 1600 円 (〒170)

申込先 〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会刊行物頒布係 Tel. 351-4131(直)

概 要 ・ 特 色

工事代金支払条件としては、① 現地通貨分 15% (出来高払)、② 米ドル支払分 85% (15% が頭金で残額は完成後5年間の半年賦払(延払)である。

本プロジェクトには世銀借款が供与されているが、現在工事は先の印パ戦争により昭和47年1月以降中断されたまま早期再開が望まれており、目下工事を継続するかどうか交渉中である。

本プロジェクトは、基隆から高雄に至る高速道路建設工事のうちの第一期工事(台北—中壢間・約30km)である。財源は中華民国政府資金およびアジア開発銀行借款による。

当工事は予算の都合および設備工事の関係上、第1回建築工事(昭和46年8月)、第2回建築工事(昭和47年7月)、設備工事(昭和47年7月)と3件工事に分割されている。建築工事第1回・第2回は間組、設備工事は間組を代表者とする新菱冷熱/近畿電工/三菱電機/明電舎JVと、3件工事契約で成立している。特色としては円貨支払いであるが、金額円貨建契約でなく現地貨部分は入札時レートによる円貨表示額と円貨部分との合算円貨支払契約であるため、送金時の実勢為替レートにより契約金額が変更される。資金は日本政府無償援助資金である。

中部ジャワのケドゥ地区1万6240haを灌漑するための用水ダム、および灌漑水路を建設するものである。インドネシア政府は自力でこの建設に着手していたが、1967年の洪水で、ゴッファーダムが決壊したため、アジア開発銀行に対し、技術・資金援助を依頼したものの。

本プロジェクトは、中部および東部ジャワを貫流するソロ河上流域900km²および支流マディウン河流域1600km²にわたって、灌漑用地下水開発の可能性を調査するとともに、地表水との組合せ使用について経済比較を行ない、さらに農業面での研究を行なうものである。ソロ河は、ジャワ島最大の河川で、流域の利用度も高く、この開発実施は重要であると思われる。

バンコック・トンブリ両市を結ぶ環状高速道路の建設で、タイ国の急速な経済発展に伴って生じた都市交通の混雑の緩和対策の一環として計画されたもの。

本プロジェクトは、1968年よりUNDP/FAOが実施してきた洛東流域総合開発調査に基づく最優先プロジェクトとして、1970年末ADBがフィービリティ・スタディの実施を決め、オーストラリアのSMECが調査を実施していたもの。都市用水・工業用水・かんがい用水の供給、水力発電、洪水防衛、下流の塩水排除を目的としている。

このプロジェクトは、柴山江流域総合開発計画として全体計画は四次に分かれ、総受益面積は10万haである。第一次の受益面積は3万4500ha、のうち1万3300haが島地である。

CIVIL ENGINEERING IN JAPAN, 1972

A 4 判・146 ページ 1600 円 (〒170)

●海外へのお土産に最適。通巻あり、詳細はお問合せ下さい●

- A Glance at the Construction of Many Kinds of Bridges in Japan (K. Tomonaga)
- Roads and Bridges in Sapporo for 11th Winter Olympic Games (T. Okada)
- Seikan Undersea Tunnel to Link Honshu and Hokkaido (K. Hama)
- New Sanyo Trunk Line Completed, the Newest of JNR's Fastest (K. Takahashi)
- The Rapid Transit Network in Tokyo Metropolitan Region (Y. Yasoshima)
- 2nd Phase Construction of the Tokyo Expressway Route No. 3 (T. Komura)
- New Tokyo International Airport and its Construction (M. Ikeda and S. Manabe)
- Development of Pumped Storage Projects : Situation & Trends (M. Yoshida)
- Water Resources Development and the Tone Salinity Barrier (A. Kimizuka)
- New Hydraulic Experiment Basin for Marine Environment Problems (S. Tsuruta)
- News Section :
 - Activities & Important Events of J.S.C.E.
 - List (1) Contents of J.S.C.E. Journal in 1971
 - List (2) Contents of J.S.C.E. Proceedings in 1971
- Directory of Japanese Construction Industry
 - Consulting Engineers
 - Contractors
 - Survey and Boring
 - Steel Bridges and Metal Works
 - Related Fields
 - Advertisement

